

ANA「心の翼プロジェクト」復興応援として福島県の小中学生を機体工場見学にご招待！ AKB48 のメンバーも応援に駆けつけます！

ANA は、「安心と信頼を基礎に世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します」というグループ経営理念のもと、「心の翼プロジェクト」として環境と社会への貢献活動を行ってまいりました。その一環として、日本に大きな被害をもたらした東日本大震災以降、ANA グループとして「ANA こころの湯プロジェクト」や、福島県の小中学生を対象に飛行機の仕組みや ANA の仕事の紹介などを行う『ANA 航空教室キャラバン』（2013 年 6 月から 2014 年 1 月までの期間に合計 14 日、29 校で開催）を実施するなど、復興応援の取り組みを実施してきました。

そして、今年度の最後の取り組みとして、上記航空教室に参加して頂いた福島県の小中学生約 40 名を羽田空港・機体メンテナンスセンターへ招待することとなりました。

今後も、ANA は環境と社会への貢献、および復興応援活動に取り組んでまいります。

《福島航空教室に参加した生徒の皆さんを機体工場見学へご招待》

2013 年度の活動として福島県で小中学生を対象として航空教室を行ってまいりました。その航空教室に参加された生徒の方約 40 名を機体工場見学へご招待いたします。また、2013 年から ANA と共同プロジェクトを実施している AKB48 のメンバーが応援に駆けつけ、生徒さんと一緒にダンスを踊り、盛り上げてくれます。

- 日時： 2014 年 3 月 24 日 11:15～12:15
 場所： 羽田空港 ANA 機体メンテナンスセンター
 参加者： 福島県の小中学生の生徒とその保護者の方
 合計約 80 名程度
 内容： 機体工場見学、AKB48 メンバーとのダンス



《これまでの ANA の復興支援の取り組み》

東日本大震災発生後、これまでの ANA の復興応援の取り組みの一部をご紹介します。

○ANA こころの湯

震災発生後、避難所で生活する方々にとって最も不自由に感じたもののひとつが「お風呂」でした。そこで、航空機の除雪車が持つ給湯機能を活用して、被災地の浴場にお湯を届けようという「ANA こころの湯プロジェクト」を展開しました。



2011 年 4 月 28 日以来、毎日欠かさず「ANA こころの湯」に給湯を続け、水道や給湯施設の復旧の目途がついた 6 月末をもって、「ANA こころの湯」の給湯活動は終了し、6 月 29 日までの 63 日間で、のべ 2237 人の方々に利用いただきました。

○福島空港周辺での取り組み

「ひまわりを咲かそうプロジェクト」の一環として、福島空港の滑走路横の斜面にハート型のひまわり畑作りや、福島空港において福島県内の小学生を招待した ANA 航空教室の開催を行いました。航空教室は 2012 年 11 月 24、25 日に実施し、2 日間で 94 名の小学生に参加頂きました。



左:ひまわりを咲かそうプロジェクト畑の様子

右:福島での航空教室の様子
(2012年11月24、25日開催)

○仙台空港周辺での取り組み

ANA グループは公益財団法人オイスカの「海岸林再生10ヵ年計画」を支援しています(ANA NEWS 第 11A-097 号参照)。宮城県名取市にある育苗場にて、グループ社員ボランティアが参加し地元農家の方々やオイスカスタッフの指導のもと、種まきや苗の植え替え作業を行っています。これまで活動資金の為の募金活動や、種付け(2013年3月)、育った苗の植え替え(2013年4月)を行いました。



苗の植え替え活動の様子
(2013年4月20、21日実施)

○宮城県南三陸町での取り組み

中期環境計画「ANA FLY ECO 2020」にある「地域・社会に新たな価値を提供できる森づくり」として、宮城県南三陸町において森づくりを行っております(ANA NEWS 第 12-063 号参照)。「ANA ころの森」と名づけ、グループ社員ボランティアも参加させて頂きながら、森林保全、環境整備などにより豊かな森を地元の皆様と作り、これまで 2012 年 10 月、2013 年 6 月に実施しました。また、森づくり活動で出た間伐材を活用した製品を現地工場で製作いただくなど、雇用創出に向けた取り組みを応援しています。



左:森づくり活動の様子
(2012年10月27日実施)

右:間伐材を活用した機内販売商品
(2013年3月限定販売)